

令和元年度病床機能報告（確定値）について

－病床機能報告からみた橋本保健医療圏の現状等－

- 1 地域医療構想で定めた必要病床数と病床機能報告による
現状の病床数との比較 P1 ～ P3
 - 2 令和元年度病床機能報告集計結果
 - ① 和歌山県全体 P4
 - ② 橋本保健医療圏 P5
 - 3 非稼働病床の状況
 - ① 和歌山県全体 P6
 - ② 橋本保健医療圏 P7
 - 4 和歌山県における定量的な基準による分析
..... P8 ～ P11
 - 5 令和2年度病床機能報告の実施について
..... P12 ～ P13
- 【P16】厚生労働省「第26回地域医療構想に関するワーキンググループ」
（令和2年8月14日開催）資料2
- 【P17】時事通信社「◎今年度の病床機能報告を簡素化＝新型コロナで負担軽減」
（令和2年8月24日記事）

和歌山県橋本保健所



地域医療構想において定めた「2025年の必要病床数」と現状の病床数について

圏域名	医療機能	〔参考〕 2013年度の 必要病床数 (床)	4年経過 2015年7月1日現在 の病床数(床) ※病床機能報告	【1】 【直近値】 2019年7月1日現在 の病床数(床) ※病床機能報告	【2】 2025年の 必要病床数 (床)	【1-2】 2019年と2025年 必要病床数の 乖離
和歌山	① 高度急性期	511	1,281	1,273	588	685
	② 急性期	1,554	2,793	2,335	1,674	661
	③ 回復期	1,629	622	983	1,836	▲ 853
	④ 慢性期	1,080	1,377	1,177	863	314
	⑤ 分類なし		199	194		194
	小 計	4,774	6,272	5,962	4,961	1,001
那 賀	① 高度急性期	43	0	0	48	▲ 48
	② 急性期	224	483	464	267	197
	③ 回復期	207	198	256	261	▲ 5
	④ 慢性期	427	429	390	385	5
	⑤ 分類なし		19	0		0
	小 計	901	1,129	1,110	961	149
橋 本	① 高度急性期	63	6	10	65	▲ 55
	② 急性期	245	498	465	267	198
	③ 回復期	292	171	186	327	▲ 141
	④ 慢性期	74	179	180	78	102
	⑤ 分類なし		12	0		0
	小 計	674	866	841	737	104
有 田	① 高度急性期	24	0	0	0	0
	② 急性期	137	350	219	146	73
	③ 回復期	140	85	233	148	85
	④ 慢性期(特例)	257	263	223	201	22
	⑤ 分類なし		0	0		0
	小 計	558	698	675	495	180
御 坊	① 高度急性期	41	4	8	20	▲ 12
	② 急性期	209	492	458	210	248
	③ 回復期	187	97	123	191	▲ 68
	④ 慢性期	255	274	279	234	45
	⑤ 分類なし		38	0		0
	小 計	692	905	868	655	213
田 辺	① 高度急性期	151	36	36	120	▲ 84
	② 急性期	397	926	723	404	319
	③ 回復期	331	171	365	340	25
	④ 慢性期	384	503	381	249	132
	⑤ 分類なし		44	38		38
	小 計	1,263	1,680	1,543	1,113	430
新 宮	① 高度急性期	48	0	0	44	▲ 44
	② 急性期	178	559	399	174	225
	③ 回復期	212	64	129	212	▲ 83
	④ 慢性期	236	397	410	154	256
	⑤ 分類なし		44	40		40
	小 計	674	1,064	978	584	394
県 計	① 高度急性期	881	1,327	1,327	885	442
	② 急性期	2,944	6,101	5,063	3,142	1,921
	③ 回復期	2,998	1,408	2,275	3,315	▲ 1,040
	④ 慢性期	2,713	3,422	3,040	2,164	876
	⑤ 分類なし		356	272		272
	小 計	9,536	12,614	11,977	9,506	2,471

「病床機能報告」(2019年7月1日現在)による病床数
(左表の【1】を病院・診療所別にしたもの)

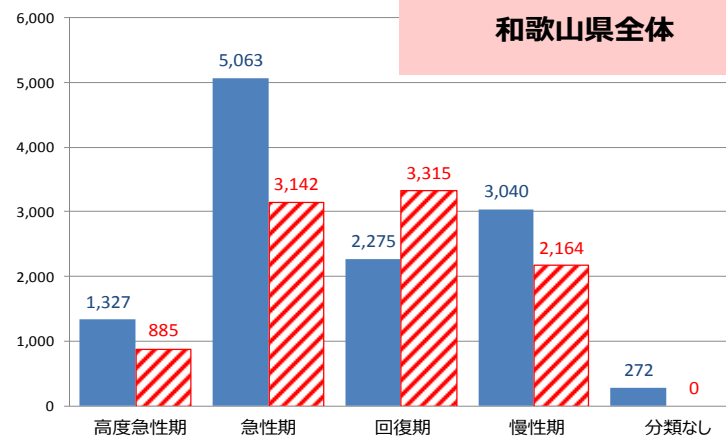
(単位: 床)

区 分	医療機関数	病 床 数					
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
和歌山	68	1,273	2,335	983	1,177	194	5,962
病院	40	1,273	2,150	927	1,072	131	5,553
有床診療所	28		185	56	105	63	409
那賀	14		464	256	390		1,110
病院	7		419	199	371		989
有床診療所	7		45	57	19		121
橋本	9	10	465	186	180		841
病院	4	10	447	184	123		764
有床診療所	5		18	2	57		77
有田	8		219	233	223		675
病院	5		190	233	204		627
有床診療所	3		29		19		48
御坊	5	8	458	123	279		868
病院	4	8	458	123	261		850
有床診療所	1				18		18
田辺	13	36	723	365	381	38	1,543
病院	8	36	711	346	343	30	1,466
有床診療所	5		12	19	38	8	77
新宮	12		399	129	410	40	978
病院	7		370	110	410	2	892
有床診療所	5		29	19		38	86
県計	129	1,327	5,063	2,275	3,040	272	11,977
病院	75	1,327	4,745	2,122	2,784	163	11,141
有床診療所	54		318	153	256	109	836

「2025年の必要病床数」と現状の病床数（棒グラフによる比較）

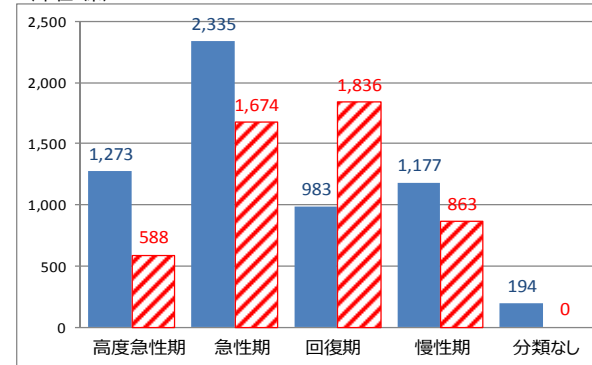
(単位: 床)

和歌山県全体



和歌山 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



棒グラフ凡例



2025年の必要病床数

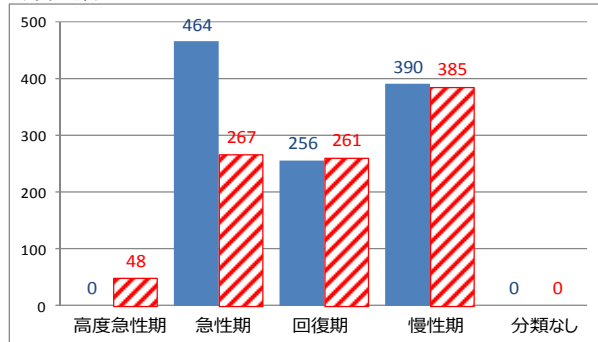


現状(2019年)の病床数

(※) 現状の病床数は、病床機能報告
(2019年7月1日現在) より

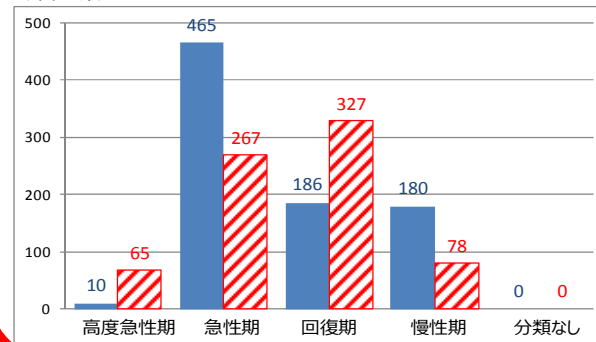
那賀 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



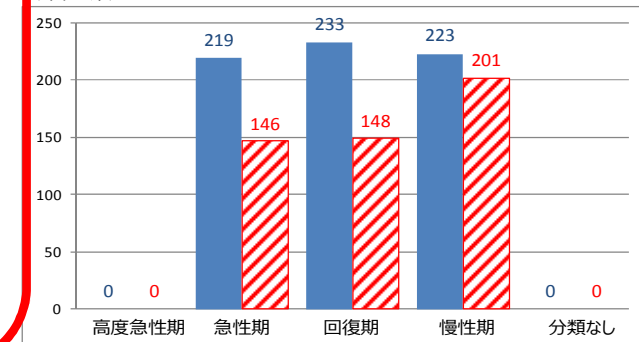
橋本 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



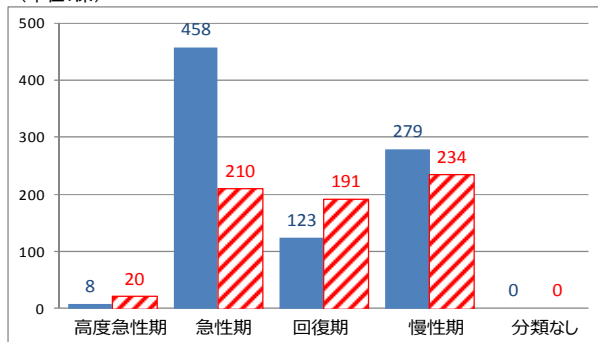
有田 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



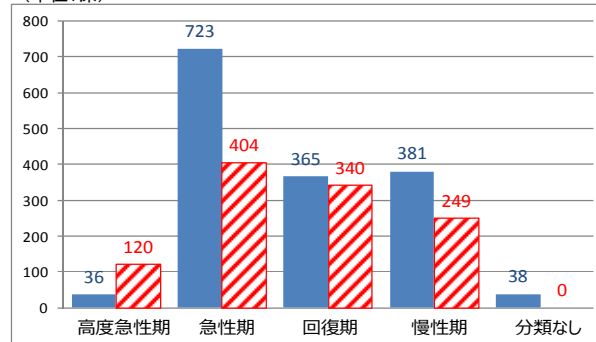
御坊 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



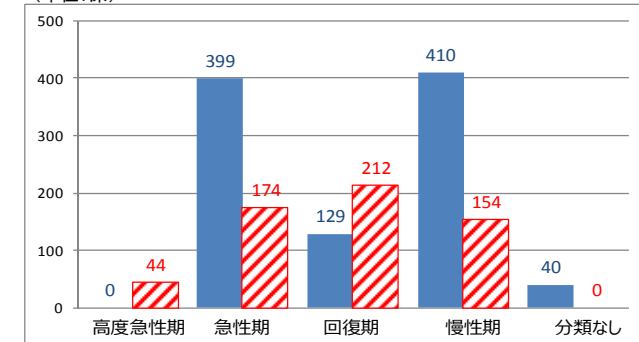
田辺 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



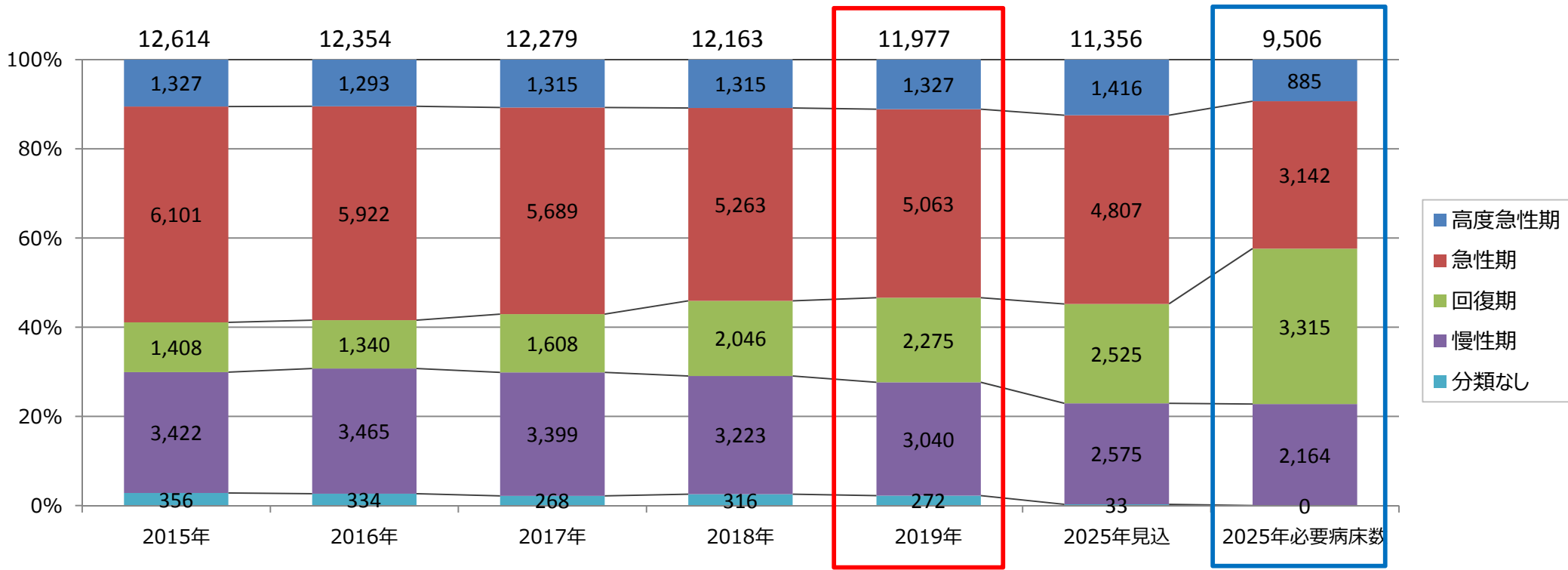
新宮 保健医療圏構想区域

(単位: 床)



病床機能ごとの病床数について

- 病床数の増減（対前年度）は、高度急性期（+12）急性期（▲200）回復期（+229）慢性期（▲183）分類なし（▲44）であり、全体で▲186となった。
- 主な増減要因としては、急性期から回復期への病床機能の転換、慢性期から介護保険施設への移行等。
- なお、回復期病床は2025年に向けて年々増加しているものの、1,040床不足している状況。



(病院、診療所)	2015年		2016年		2017年		2018年(A)		2019年(B)		2025年見込(C)		2025年必要病床数(D)		対前年度比(B-A)	2019→2025増減見込(C-B)	必要病床数との乖離(B-D)
高度急性期	1,327	10.5%	1,293	10.5%	1,315	10.7%	1,315	10.8%	1,327	10.9%	1,416	11.5%	885	7.3%	12	89	442
急性期	6,101	48.4%	5,922	47.9%	5,689	46.3%	5,263	43.3%	5,063	41.6%	4,807	39.1%	3,142	25.8%	▲ 200	▲ 256	1,921
回復期	1,408	11.2%	1,340	10.8%	1,608	13.1%	2,046	16.8%	2,275	18.7%	2,525	20.6%	3,315	27.3%	229	250	▲ 1,040
慢性期	3,422	27.1%	3,465	28.0%	3,399	27.7%	3,223	26.5%	3,040	25.0%	2,575	21.0%	2,164	17.8%	▲ 183	▲ 465	876
分類なし	356	2.8%	334	2.7%	268	2.2%	316	2.6%	272	2.2%	33	0.3%	0	0.0%	▲ 44	▲ 239	272
合計	12,614		12,354		12,279		12,163		11,977		11,356		9,506		▲ 186	▲ 621	2,471

※ 2025年見込については2019年度報告データ。 ※ 報告対象医療機関は毎年増減あり。

【①和歌山県全体】病床機能ごとの病床数について（2018年度→2019年度）

1 病院

2019年度報告対象医療機関：病院75（前年度比±0） 有床診療所54（前年度比▲5）

保健医療圏	2018年度病床機能報告（2018年7月1日現在）（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	5,581	1,261	2,196	806	1,175	143
那賀	989		419	199	371	
橋本	764	10	447	184	123	
有田	627		216	207	204	
御坊	850	8	458	123	261	
田辺	1,556	36	793	264	423	40
新宮	892		370	110	410	2
計	11,259	1,315	4,899	1,893	2,967	185

保健医療圏	2019年度病床機能報告（2019年7月1日現在）（B）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	5,553	1,273	2,150	927	1,072	131
那賀	989		419	199	371	
橋本	764	10	447	184	123	
有田	627		190	233	204	
御坊	850	8	458	123	261	
田辺	1,466	36	711	346	343	30
新宮	892		370	110	410	2
計	11,141	1,327	4,745	2,122	2,784	163

保健医療圏	2018年度 → 2019年度の増減（B）－（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	▲ 28	12	▲ 46	121	▲ 103	▲ 12
那賀						
橋本						
有田			▲ 26	26		
御坊						
田辺	▲ 90		▲ 82	82	▲ 80	▲ 10
新宮						
計	▲ 118	12	▲ 154	229	▲ 183	▲ 22

2 有床診療所

保健医療圏	2018年度病床機能報告（2018年7月1日現在）（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	456		210	56	105	85
那賀	121		45	57	19	
橋本	77		18	2	57	
有田	69		50		19	
御坊	18				18	
田辺	77		12	19	38	8
新宮	86		29	19		38
計	904		364	153	256	131

保健医療圏	2019年度病床機能報告（2019年7月1日現在）（B）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	409		185	56	105	63
那賀	121		45	57	19	
橋本	77		18	2	57	
有田	48		29		19	
御坊	18				18	
田辺	77		12	19	38	8
新宮	86		29	19		38
計	836		318	153	256	109

保健医療圏	2018年度 → 2019年度の増減（B）－（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	▲ 47		▲ 25			▲ 22
那賀						
橋本						
有田	▲ 21		▲ 21			
御坊						
田辺						
新宮						
計	▲ 68		▲ 46			▲ 22

3 病院＋有床診療所

保健医療圏	2018年度病床機能報告（2018年7月1日現在）（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	6,037	1,261	2,406	862	1,280	228
	4,961	588	1,674	1,836	863	
那賀	1,110		464	256	390	
	961	48	267	261	385	
橋本	841	10	465	186	180	
	737	65	267	327	78	
有田	696		266	207	223	
	495		146	148	201	
御坊	868	8	458	123	279	
	655	20	210	191	234	
田辺	1,633	36	805	283	461	48
	1,113	120	404	340	249	
新宮	978		399	129	410	40
	584	44	174	212	154	
計	12,163	1,315	5,263	2,046	3,223	316
	9,506	885	3,142	3,315	2,164	

保健医療圏	2019年度病床機能報告（2019年7月1日現在）（B）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	5,962	1,273	2,335	983	1,177	194
	4,961	588	1,674	1,836	863	
那賀	1,110		464	256	390	
	961	48	267	261	385	
橋本	841	10	465	186	180	
	737	65	267	327	78	
有田	675		219	233	223	
	495		146	148	201	
御坊	868	8	458	123	279	
	655	20	210	191	234	
田辺	1,543	36	723	365	381	38
	1,113	120	404	340	249	
新宮	978		399	129	410	40
	584	44	174	212	154	
計	11,977	1,327	5,063	2,275	3,040	272
	9,506	885	3,142	3,315	2,164	

保健医療圏	2018年度 → 2019年度の増減（B）－（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	▲ 75	12	▲ 71	121	▲ 103	▲ 34
那賀						
橋本						
有田	▲ 21		▲ 47	26		
御坊						
田辺	▲ 90		▲ 82	82	▲ 80	▲ 10
新宮						
計	▲ 186	12	▲ 200	229	▲ 183	▲ 44

※下段の赤字は2025年必要病床数

【②橋本保健医療圏】医療機関別・医療機能別の病床数

(1)ーア 病院(2018年度→2019年度)

医療機関名称	2018年7月1日現在 (A)						2019年7月1日現在 (B)						増減 (B)－(A)					
	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
橋本保健医療圏	764	10	447	184	123	0	764	10	447	184	123	0	0	0	0	0	0	0
橋本市民病院	300	6	244	50			300	6	244	50			0					
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	100		100				100		100				0					
医療法人南労会紀和病院	280	4	54	99	123		280	4	54	99	123		0					
社会医療法人 博寿会 山本病院	84		49	35			84		49	35			0					

【②橋本保健医療圏】医療機関別・医療機能別の病床数

(1)ーイ 病院(2019年度 →2025年の予定)

医療機関名称	2019年7月1日現在（B）						2025年の予定（C）						(C)－(B)		
	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし		廃止	介護医 療院等
橋本保健健康医療圏	764	10	447	184	123	0	744	10	421	190	123	0	0	0	▲ 20
橋本市民病院	300	6	244	50			300	6	244	50					0
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	100		100				80		80						▲ 20
医療法人南労会紀和病院	280	4	54	99	123		280	4	54	99	123				0
社会医療法人 博寿会 山本病院	84		49	35			84		43	41					0

【②橋本保健医療圏】医療機関別・医療機能別の病床数

(2)ーア 有床診療所(2018年度→2019年度)

医療機関名称	2018年7月1日現在 (A)						2019年7月1日現在 (B)						増減 (B)－(A)					
	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
橋本保健医療圏	77	0	18	2	57	0	77	0	18	2	57	0	0	0	0	0	0	0
医療法人恒裕会 吉田クリニック	19				19		19				19						0	
高野町立高野山総合診療所	2			2			2			2							0	
医療法人博周会梅本診療所	19				19		19				19						0	
医療法人 岡田整形外科	19				19		19				19						0	
奥村マタニティクリニック	18		18				18		18								0	

【②橋本保健医療圏】医療機関別・医療機能別の病床数

(2)ーイ 有床診療所(2019年度 →2025年の予定)

医療機関名称	2019年7月1日現在（B）						2025年の予定（C）						(C)－(B)	
	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし		廃止
橋本保健医療圏	77	0	18	2	57	0	77	0	18	2	57	0	0	0
医療法人恒裕会 吉田クリニック	19				19		19				19			
高野町立高野山総合診療所	2			2			2			2				
医療法人博周会梅本診療所	19				19		19				19			
医療法人 岡田整形外科	19				19		19				19			
奥村マタニティクリニック	18		18				18		18					

※ 無床化により報告対象外となった医療機関を除く。

【①和歌山県全体】非稼働病床の状況（2018年度→2019年度）

※ 非稼働病床数とは…許可病床数から過去1年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数を差し引いた病床数のこと

2018年7月1日時点の非稼働病床（A）

保健医療圏	病 院			有床診療所			計		
	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合
和歌山	5,581	317	5.7%	456	117	25.7%	6,037	434	7.2%
和歌山市	5,084	310	6.1%	395	113	28.6%	5,479	423	7.7%
海南地域	497	7	1.4%	61	4	6.6%	558	11	2.0%
那 賀	989	51	5.2%	121	7	5.8%	1,110	58	5.2%
橋 本	764	29	3.8%	77	2	2.6%	841	31	3.7%
有 田	627	5	0.8%	69	26	37.7%	696	31	4.5%
御 坊	850	2	0.2%	18	0	0.0%	868	2	0.2%
田 辺	1,556	93	6.0%	77	8	10.4%	1,633	101	6.2%
新 宮	892	23	2.6%	86	27	31.4%	978	50	5.1%
計	11,259	520	4.6%	904	187	20.7%	12,163	707	5.8%

2019年7月1日時点の非稼働病床（B）

保健医療圏	病 院			有床診療所			計		
	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合
和歌山	5,553	305	5.5%	409	87	21.3%	5,962	392	6.6%
和歌山市	5,056	299	5.9%	348	82	23.6%	5,404	381	7.1%
海南地域	497	6	1.2%	61	5	8.2%	558	11	2.0%
那 賀	989	49	5.0%	121	11	9.1%	1,110	60	5.4%
橋 本	764	23	3.0%	77	2	2.6%	841	25	3.0%
有 田	627	13	2.1%	48	15	31.3%	675	28	4.1%
御 坊	850	2	0.2%	18	7	38.9%	868	9	1.0%
田 辺	1,466	96	6.5%	77	0	0.0%	1,543	96	6.2%
新 宮	892	43	4.8%	86	43	50.0%	978	86	8.8%
計	11,141	531	4.8%	836	165	19.7%	11,977	696	5.8%

※「海南地域」…海南市及び紀美野町

増減（B）－（A）

保健医療圏	病 院			有床診療所			計		
	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合
和歌山	▲ 28	▲ 12	-0.2%	▲ 47	▲ 30	-4.4%	▲ 75	▲ 42	-0.6%
和歌山市	▲ 28	▲ 11	-0.2%	▲ 47	▲ 31	-5.0%	▲ 75	▲ 42	-0.7%
海南地域	0	▲ 1	-0.2%	0	1	1.6%	0	0	0.0%
那 賀	0	▲ 2	-0.2%	0	4	3.3%	0	2	0.2%
橋 本	0	▲ 6	-0.8%	0	0	0.0%	0	▲ 6	-0.7%
有 田	0	8	1.3%	▲ 21	▲ 11	-6.4%	▲ 21	▲ 3	-0.3%
御 坊	0	0	0.0%	0	7	38.9%	0	7	0.8%
田 辺	▲ 90	3	0.6%	0	▲ 8	-10.4%	▲ 90	▲ 5	0.0%
新 宮	0	20	2.2%	0	16	18.6%	0	36	3.7%
計	▲ 118	11	0.1%	▲ 68	▲ 22	-0.9%	▲ 186	▲ 11	0.0%

【②橋本保健医療圏】非稼働病床の状況（2019年度）

（1）病院

※ 非稼働病床数とは…許可病床数から過去１年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数を差し引いた病床数のこと

医療機関名称	一般病床・療養病床 合計			参 考	
	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	2018非稼働 病床数 (合 計)	2018→2019 非稼働 増 減
橋本保健医療圏（和歌山市）	1,224	161	13.2%	29	132
橋本市民病院	300				
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	100	22	22.0%	24	▲ 2
山本病院	84	1	1.2%	3	▲ 2
紀和病院	280			2	▲ 2

（2）有床診療所

※ 非稼働病床数とは…許可病床数から過去１年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数を差し引いた病床数のこと

医療機関名称	一般病床・療養病床 合計			参 考	
	病床数	非稼働 病床数	非稼働 割合	2018非稼働 病床数 (合 計)	2018→2019 非稼働 増 減
橋本保健医療圏	77	2	2.6%	2	0
医療法人恒裕会 吉田クリニック	19				
高野町立高野山総合診療所	2	2	100.0%	2	0
医療法人博周会梅本診療所	19				
医療法人 岡田整形外科	19				
奥村マタニティクリニック	18				

病床機能報告における和歌山県の「定量的な基準」

(平成30年度地域医療構想調整会議資料より)

「定量的な基準」の導入意義

- ① 一般病棟(7対1基準)に関して、高度急性期並みか急性期並みかの客観的な目安を提示するもの。
- ② 一般病棟(10対1、13対1、15対1基準)及び地域包括ケア病棟に関して、急性期機能と名乗るに相応しい機能を果たしているのか否かの、客観的な目安を提示するもの。

「定量的な基準」の目的・狙い

- ① 各医療機関が病床機能報告を行うにあたっての**報告基準を新たに設けるものではない。**
- ② 各医療機関が、地域における**自らの医療機能**(例:地域医療に必要な救急受入件数など急性期機能の充足度を評価する)に関する**立ち位置をより正確に把握することによって、実態に合った自主的な病床機能報告につなげようとする趣旨。**
- ③ 「定量的な基準」を、医療機能や供給量を把握するための**客観的な目安として地域医療構想調整会議の議論に活用することによって、議論の活性化につなげようとするもの。**



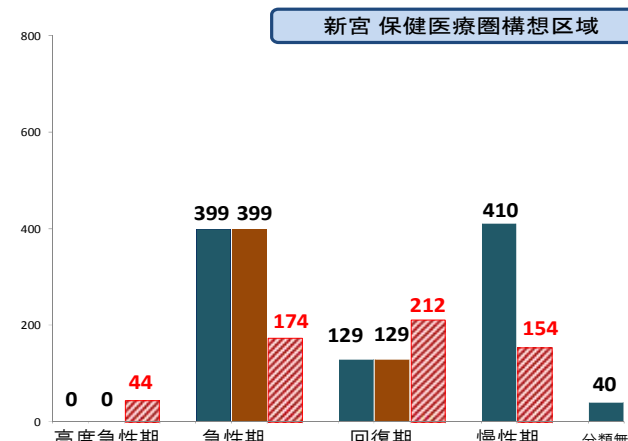
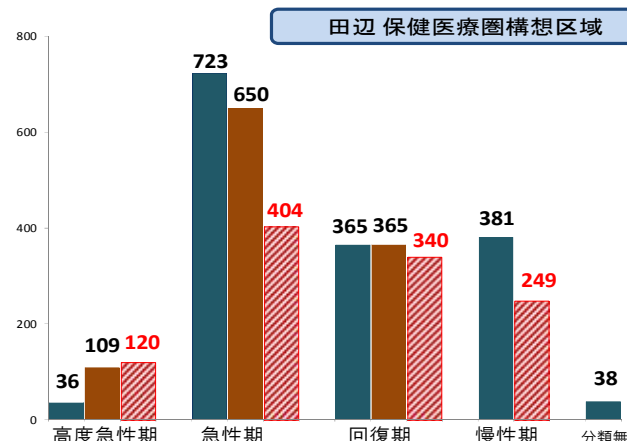
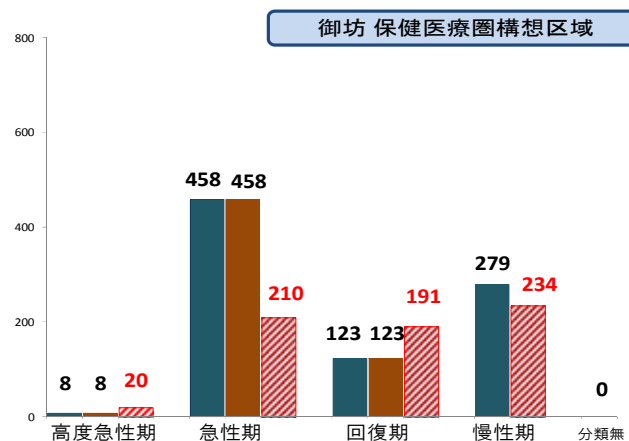
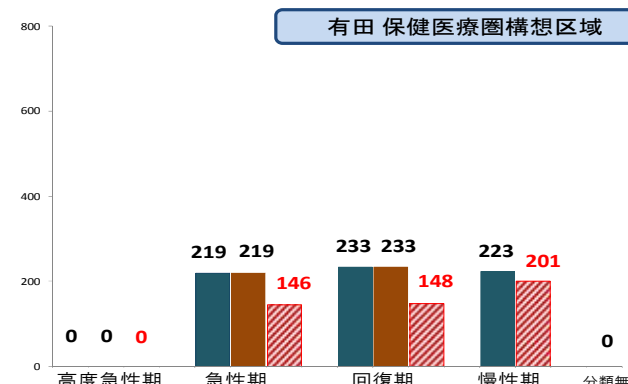
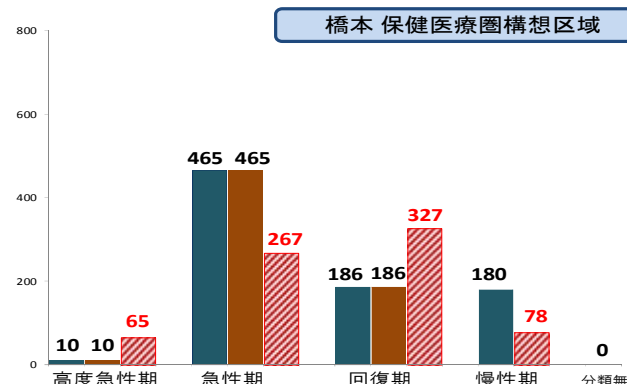
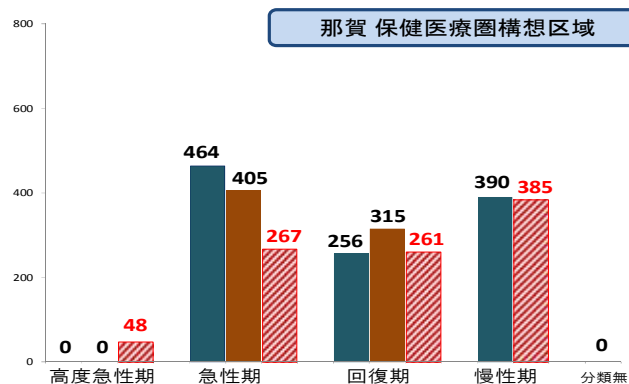
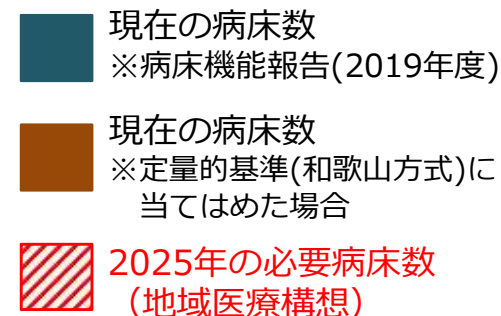
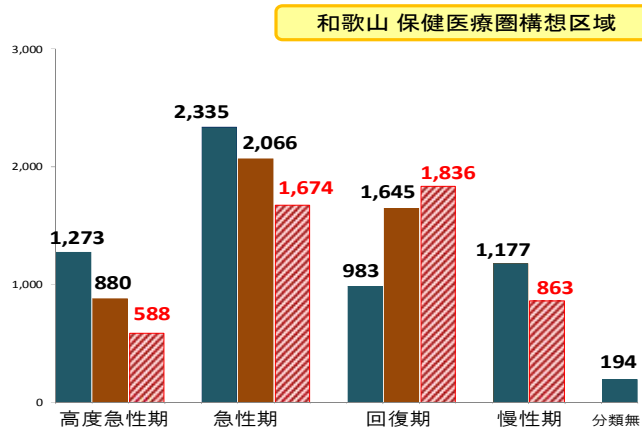
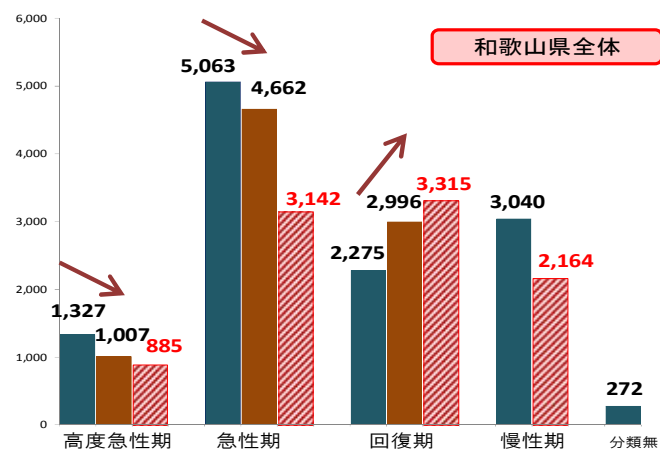
- 「定量的な基準」によって病床機能の見える化を図り、機能分化を進める。
- 並行して、『公的病院を中心とした再編・ネットワーク化』や『長期にわたる非稼働病床(病棟)の整理』などの取組を引き続き、進めていく。

区分	基準の対象となる医療機能	定量的な基準	
和歌山基準①	高度急性期・急性期	● I C Uなどの4対1基準の病棟はすべて「高度急性期」	
		● 7対1基準の一般病棟のうち、県全体において果たす役割を考慮した上で、下記A～Jの10項目のうち1項目以上が基準超えの病棟(※)は「高度急性期」	
		項目A) 全身麻酔手術	2回／床／月
		項目B) 胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.5回／床／月
		項目C) 悪性腫瘍手術	0.5回／床／月
		項目D) 超急性期脳卒中加算	(レセプト件数)あり
		項目E) 脳血管内手術	(算定回数)あり
		項目F) 経皮的冠動脈形成術	0.5回／床／月
		項目G) 救急搬送診療料	(算定回数)あり
		項目H) 救急諸項目	0.2回／床／月
和歌山基準②	急性期・回復期	● 上記以外の7対1基準の一般病棟は「急性期」	
		● 救急搬送件数が下記のいずれにも満たない病院は「急性期」と報告しない。	
		項目) 救急搬送件数(消防統計)	年間300件以上 中等症以上件数が100件以上

※特定機能病院・救命救急センター・周産期母子医療センターである病院で、過去3年間の実績を定量的な基準に当てはめた結果、基準を超える病棟

注)小児・周産期・緩和ケアなど、地域医療に不可欠であって特殊性の強い病棟は、上記の基準とは切り分けて考えるものとする。

2019年度病床機能報告に「和歌山県における定量的な基準」をあてはめた場合の病床数



2019年度病床機能報告に「和歌山県における定量的な基準」をあてはめた場合の病床数

			【1】	【2-A】	【2-A】-【1】	【2-B】		【3】	【2-A】-【3】	【2-B】-【3】
圏域名	医療機能	2015年の 病床数 ※病床機能報告	2018年の 病床数 ※病床機能報告	2019年の 病床数 ※病床機能報告	前年度からの 増減 ※病床機能報告	2019年の 病床数 ※定量的基準		2025年の 必要病床数 ※地域医療構想	2019年と2025 年必要病床数 との乖離 ※病床機能報告 ベース	2019年と2025 年必要病床数 との乖離 ※定量的基準 ベース
和歌山	① 高度急性期	1,281	1,261	1,273	12	880		588	685	292
	② 急性期	2,793	2,406	2,335	▲ 71	2,066		1,674	661	392
	③ 回復期	622	862	983	121	1,645		1,836	▲ 853	▲ 191
	④ 慢性期	1,377	1,280	1,177	▲ 103	1,177		863	314	314
	分類なし	199	228	194	▲ 34	194			194	194
	小 計	6,272	6,037	5,962	▲ 75	5,962		4,961	1,001	1,001
那 賀	① 高度急性期	0	0	0	0	0		48	▲ 48	▲ 48
	② 急性期	483	464	464	0	405		267	197	138
	③ 回復期	198	256	256	0	315		261	▲ 5	54
	④ 慢性期	429	390	390	0	390		385	5	5
	分類なし	19	0	0	0	0			0	0
	小 計	1,129	1,110	1,110	0	1,110		961	149	149
橋 本	① 高度急性期	6	10	10	0	10		65	▲ 55	▲ 55
	② 急性期	498	465	465	0	465		267	198	198
	③ 回復期	171	186	186	0	186		327	▲ 141	▲ 141
	④ 慢性期	179	180	180	0	180		78	102	102
	分類なし	12	0	0	0	0			0	0
	小 計	866	841	841	0	841		737	104	104
有 田	① 高度急性期	0	0	0	0	0		0	0	0
	② 急性期	350	266	219	▲ 47	219		146	73	73
	③ 回復期	85	207	233	26	233		148	85	85
	④ 慢性期(特例)	263	223	223	0	223		201	22	22
	分類なし	0	0	0	0	0			0	0
	小 計	698	696	675	▲ 21	675		495	180	180
御 坊	① 高度急性期	4	8	8	0	8		20	▲ 12	▲ 12
	② 急性期	492	458	458	0	458		210	248	248
	③ 回復期	97	123	123	0	123		191	▲ 68	▲ 68
	④ 慢性期	274	279	279	0	279		234	45	45
	分類なし	38	0	0	0	0			0	0
	小 計	905	868	868	0	868		655	213	213
田 辺	① 高度急性期	36	36	36	0	109		120	▲ 84	▲ 11
	② 急性期	926	805	723	▲ 82	650		404	319	246
	③ 回復期	171	283	365	82	365		340	25	25
	④ 慢性期	503	461	381	▲ 80	381		249	132	132
	分類なし	44	48	38	▲ 10	38			38	38
	小 計	1,680	1,633	1,543	▲ 90	1,543		1,113	430	430
新 宮	① 高度急性期	0	0	0	0	0		44	▲ 44	▲ 44
	② 急性期	559	399	399	0	399		174	225	225
	③ 回復期	64	129	129	0	129		212	▲ 83	▲ 83
	④ 慢性期	397	410	410	0	410		154	256	256
	分類なし	44	40	40	0	40			40	40
	小 計	1,064	978	978	0	978		584	394	394
県 計	① 高度急性期	1,327	1,315	1,327	12	1,007		885	442	122
	② 急性期	6,101	5,263	5,063	▲ 200	4,662		3,142	1,921	1,520
	③ 回復期	1,408	2,046	2,275	229	2,996		3,315	▲ 1,040	▲ 319
	④ 慢性期	3,422	3,223	3,040	▲ 183	3,040		2,164	876	876
	分類なし	356	316	272	▲ 44	272			272	272
	小 計	12,614	12,163	11,977	▲ 186	11,977		9,506	2,471	2,471

※病床機能報告は、各年7月1日現在。

引き続き、定量的な基準に留意しつつ、地域における自院の立ち位置を把握し、2020年度(令和2年度)の病床機能報告に取り組んでいただくようお願いします。



<参考> 和歌山県における定量的な基準② 2018年(H30年)救急搬送件数ベース

二次医療圏	搬送機関：機関名	初診医評価							総計
		1-死亡	2-重篤	3-重症	4-中等症	中等症以上小計	5-軽症	6-その他	
1	和歌山 日本赤十字社 和歌山医療センター	130		554	2,623	3,307	3,955	3	7,265
2	和歌山 和歌山県立医科大学附属病院	86		667	1,918	2,671	2,420	1	5,092
3	田辺 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター	65		353	1,353	1,771	1,676		3,447
4	和歌山 独立行政法人労働者健康安全機構 和歌山労災病院	29		138	830	997	2,294	4	3,295
5	田辺 紀南病院	72		224	784	1,080	1,330		2,410
6	那賀 公立那賀病院	40		320	1,121	1,481	801		2,282
7	橋本 橋本市民病院	33		278	882	1,193	992		2,185
8	和歌山 済生会和歌山病院	3		31	423	457	1,326	1	1,784
9	新宮 新宮市立医療センター	49		234	636	919	852		1,771
10	御坊 国保日高総合病院	37		219	571	827	864	1	1,692
11	新宮 くしもと町立病院	40		106	365	511	566		1,077
12	和歌山 堀口記念病院			2	111	113	956	2	1,071
13	田辺 白浜はまゆう病院	17		79	285	381	672		1,053
14	御坊 北出病院	27		113	447	587	434		1,021
15	有田 有田市立病院	25		124	349	498	441		939
16	和歌山 海南医療センター	15		69	361	445	349		794
17	有田 済生会有田病院	41		125	302	468	254		722
18	橋本 医療法人南労会 紀和病院	13		91	304	408	297		705
19	新宮 那智勝浦町立温泉病院	25		41	210	276	407		683
20	和歌山 和歌山生協病院	3		16	194	213	468		681
21	和歌山 医療法人愛晋会 中江病院	3		13	147	163	431		594
22	橋本 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	23		49	150	222	313		535
23	和歌山 誠佑記念病院	3		73	225	301	212		513
24	那賀 貴志川リハビリテーション病院			50	211	261	239		500
25	田辺 医療法人研医会 田辺中央病院			32	153	185	274		459
26	和歌山 医療法人 橋本病院			4	90	94	323	1	418
27	和歌山 国保野上厚生総合病院	16		65	127	208	170		378
28	和歌山 向陽病院			4	40	44	318		362
29	和歌山 須佐病院			3	75	78	274		352
30	那賀 稲穂会病院	2		31	137	170	179		349
31	和歌山 恵友病院	8		12	135	155	194		349
32	橋本 社会医療法人 博寿会 山本病院	8		12	124	144	147		291
33	有田 医療法人たちばな会 西岡病院	4		47	94	145	136		281
34	那賀 名手病院	2		32	107	141	75		216
35	御坊 整形外科北裏病院	1		57	49	107	89		196
36	御坊 独立行政法人国立病院機構 和歌山病院	18		43	100	161	32		193
37	和歌山 医療法人曙会 和歌浦中央病院				32	32	183		215
38	和歌山 医療法人裕紫会 中谷病院	6		10	31	47	139		186
39	田辺 国保すさみ病院	7		11	38	56	116		172
40	那賀 富田病院	2		13	61	76	71		147
41	和歌山 医療法人琴仁会 石本病院	14		5	74	93	41		134
42	和歌山 古梅記念病院	3		5	58	66	65		131
43	和歌山 今村病院				9	9	99		108
44	有田 和歌山県立こころの医療センター			12	17	29	66		95

二次医療圏	搬送機関：機関名	初診医評価							総計
		1-死亡	2-重篤	3-重症	4-中等症	中等症以上小計	5-軽症	6-その他	
45	和歌山 上山病院			2	11	13	72		85
46	和歌山 宇都宮病院			3	25	28	54		82
47	和歌山 高山病院			1	13	14	40		54
48	有田 桜ヶ丘病院	3		3	26	32	14		46
49	和歌山 伏虎リハビリテーション病院			1	21	22	20		42
50	和歌山 医療法人博文会 児玉病院			5	11	16	23		39
51	和歌山 嶋病院	2		2	22	26	8		34
52	那賀 殿田胃腸肛門病院			2	18	20	13		33
53	和歌山 福外科病院			1	14	15	15		30
54	和歌山 医療法人青松会 河西田村病院			1	11	12	17		29
55	和歌山 角谷整形外科病院				14	14	15		29
56	那賀 紀の川病院				11	11	14		25
57	田辺 紀南こころの医療センター			2	2	4	20		24
58	和歌山 医療法人良友会 西和歌山病院			1	11	12	11		23
59	和歌山 医療法人 宮本病院			2	2	4	14		18
60	和歌山 医療法人旭会 和歌浦病院				4	4	14		18
61	和歌山 稲田病院			1	8	9	9		18
62	和歌山 医療法人 田村病院			1	6	7	8		15
63	田辺 医療法人宝山会 白浜小南病院				7	7	1		8
64	橋本 紀の郷病院			4	2	6	2		8
65	和歌山 谷口病院	1		1	3	5	3		8
66	和歌山 琴の浦リハビリテーションセンター附属病院			2	2	4	3		7
67	有田 有田南病院			2	4	6	1		7
68	田辺 医療法人洗心会 玉置病院			1	3	4	1	1	6
69	新宮 医療法人日進会 日進会病院	1			2	3			3
70	和歌山 医療法人 浜病院				1	1	1		2
71	新宮 医療法人 芳純会 潮岬病院					0	2		2
72	新宮 医療法人健佑会 串本有田病院					0	2		2
73	和歌山 井上病院					0	2		2
74	和歌山 笠松病院					0	1		1
75	新宮 新宮病院			1		1			1
76	和歌山 瀬藤病院				1	1			1

【数値出典】 2018年消防統計

定量的な基準 ② （和歌山方式）

①救急搬送
中等症以上
≥100件/年

②救急搬送総計
≥300件/年

➤ ①②いずれも満たさない病院は「急性期」と報告しない

令和 2 年度病床機能報告の実施における論点

第 2 6 回 地 域 医 療 構 想 に 関 す る W G	資料 2
令 和 2 年 8 月 1 4 日	

※ 一部改変

病床機能報告対象病院等は、医療法等の規定に基づき、病床の機能分化連携の推進のため、毎年 7 月 1 日における病床の機能等を病棟単位で都道府県知事へ報告し、都道府県知事は報告された事項について公表することとされている。

【論点 1 令和 2 年度診療報酬改定を踏まえた「具体的な医療の内容に関する項目」の報告について】

- 報告事項のうち「具体的な医療の内容に関する項目」については、診療報酬の診療行為に着目して報告項目を設定し、毎年 6 月のレセプト情報による診療実績の報告を求めており、令和 2 年度診療報酬改定を踏まえて、報告項目の名称変更や見直しについて対応する必要がある。
- しかしながら、本年 6 月のレセプト情報による診療実績については、令和 3 年度病床機能報告において、診療実績の報告を通年化し、令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月の診療実績の報告を求めれば、令和 2 年 6 月も含めて報告がなされることを踏まえると、必ずしも今年度の病床機能報告において求める必要はないと思われる。また、新型コロナウイルス感染症対応下であるため、病床機能報告対象病院等に対する負担軽減を図ることも重要であると考える。
- そのため、令和 3 年度病床機能報告における診療実績の報告の通年化を前提として、令和 2 年度の病床機能報告ではレセプト情報による診療実績の報告を求めないこととしてはどうか。⇒様式 2 の報告は実施しない

【論点 2 その他の報告項目の追加・変更の検討について】

- 例年、病床の機能分化・連携の推進に当たり、必要な報告項目の追加、変更の検討を行っているが、新型コロナウイルス感染症対応下であることから、病床機能報告対象病院等に対して新たな対応を求めることは困難であると考える。
- そのため、令和 2 年度病床機能報告では、論点 1 の「具体的な医療の内容に関する項目」を除き、報告項目の追加・変更を行わないこととしてはどうか。⇒様式 1 の報告は報告項目の追加・変更を行わずに実施する

◎ 今年度の病床機能報告を簡素化＝新型コロナで負担軽減―厚労省

20/08/24 07:30 KP02

厚生労働省は、医療機関に義務付けている現状の病床機能などに関する都道府県への報告について、2020年度は大幅に簡素化する方針だ。医療機関が新型コロナウイルス対応に追われる中、回答に当たっての負担を軽減する狙い。有識者らで構成する同省の地域医療構想に関するワーキンググループ（WG）に方針を提示した。

厚労省は、「団塊の世代」がすべて75歳以上になる25年の医療需要や病床の必要量を定めた地域医療構想の実現に向け、足元の状況を把握するための「病床機能報告」制度を設けている。同制度に基づき、医療機関は毎年7月1日時点と、25年時点で予定する病床の機能を「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」の中から選択するほか、手術件数など1カ月（6月分）の診療実績を取りまとめて回答。報告された内容は、都道府県が公表する仕組みだ。

例年は10月ごろが医療機関から都道府県への報告期間となるが、厚労省は今年度、新型コロナの影響も踏まえ、**20年6月の診療実績の報告は求めない**こととする。

既にWGは19年2月、診療実績をより正確に把握するため、報告を1カ月分から通年に切り替える方針を示している。21年度については、20年4月～21年3月の実績を回答してもらう方向。この中には20年6月の診療実績も含まれるため、本来は今回の報告対象だった期間も把握できると判断した。

厚労省は例年、医療機関に報告してもらう項目を見直しているが、20年度は新型コロナのため医療機関に新たな対応を求めるのが困難であることを考慮。**一部を除いて報告事項の追加や変更を見送る方針**だ。（了）